

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	地島～神湊	離島振興・観光担当部署と連携し、本市と提携している民間事業者の協力を得て、船内の抗菌コーキングを新たに実施した。	B	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを継続強化しつつ、離島振興・観光担当部署と連携して来島促進に向けた取り組みを進める。 知床海難沖事故を受けて渡船利用者の安全意識は高まっていることから、ハード・ソフトに両面において安全運航に向けた対応をこれまで以上に強化する。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、離島振興・観光担当部署と連携して、来島促進の取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	大島～神湊～地島	離島振興・観光担当部署と連携し、本市と提携している民間事業者の協力を得て、コロナ感染対策を盛り込んだ船内アナウンスへの刷新や船の魅力が船員自ら紹介する「バックヤードツアー」の開催、船内の抗菌コーキングなど新たな取り組みを行った。	B	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを継続強化しつつ、離島振興・観光担当部署と連携して来島促進に向けた取り組みを進める。 知床海難沖事故を受けて渡船利用者の安全意識は高まっていることから、ハード・ソフトに両面において安全運航に向けた対応をこれまで以上に強化する。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、世界遺産等の島内観光資源を活かした交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島 確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	<p>コロナ禍における適切な運航を図るため、消毒液の設置・マスク着用の励行・乗船前検温・船内消毒・座席間隔の確保等を行いながら運航を継続した。また、本航路の魅力向上に向けた取組として、新宮町おもてなし協会(観光協会)と連携して、主船しんぐうをモチーフとしたペーパークラフトを土産品として製作、販売開始した。</p>	A	B	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、訪日外国人利用客の動向も含め、継続的かつ安全な運航と乗船客の利便性向上に取り組んでいく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、感染症対策を実施しながら、観光地である相島の観光客誘致等の取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議会	福岡県福岡市	<p>航路名:玄界島～博多航路 運航区間:玄界島～博多</p>	<p>島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内客室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。情報発信に関しては、渡島自肅要請の解除に伴い、SNS等を活用しながら、利用者拡大に努めた。</p>	A	C	<p>島民が安心して乗船できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、適切な時期を捉えて、SNS等を活用した情報発信を開始し、島民以外の利用者拡大に努めていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けた、SNSでの情報発信や利用者の利便増進等の取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議 会	福岡県福岡市	航路名：小呂島～姪 浜航路 運航区間：小呂島～ 姪浜	島民が安心して乗船できるよう、待合所、船内容室における新型コロナウイルス感染症対策を徹底した。 情報発信に関しては、渡島自粛要請の解除に伴い、SNS等を活用しながら、利用者拡大に努めた。 なお、欠航情報の発信については、ITを活用するなど、より丁寧な周知を心がけることとした。 新船建造については現在も協議を進めている。	A	C	島民が安心して乗船できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、適切な時期を捉えて、SNS等を活用した情報発信を開始し、島民以外の利用者拡大に努めていく。 欠航率の改善については、時化に強い船舶の建造を目指していく。 欠航情報の迅速な周知に向け、引き続き島内漁協の放送設備の活用も含め、検討していく。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、策定された航路改善計画に沿って、時化等へ対応する省エネ型代替船舶の建造や、欠航状況の把握等を行う取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県糸島市離島 航路確保維持協議 会	糸島市	姪島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしマップ」を活用により島の魅力をアピールし、観光客等の増進に努めた。	A	C	引き続き、島内整備や関係機関との連携により観光利用客の増加に取り組む。 また、観光パンフレット「ひめしマップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用誘致など島外利用者の拡大に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、島民からの意見を反映しながら、離島航路の運営を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、「ひめしマップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信を行い、観光客誘致の取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県北九州市離島航路確保維持協議会	北九州市	藍島～小倉	<p>①経費縮減 船員が対応可能な小修繕を行い経費削減を図るとともに、停泊時のアイドリングストップや入札により高騰する燃料費の抑制に務めた。</p> <p>②離島活性化 定期的な活動を行う海岸清掃団体など、島の応援者たちの参加により、島外との繋がりが図られた。</p> <p>③増客対策 ペアチケットやファミリーチケットの活用や、コロナ禍で中止していた夏季増便を昨年度に引き続き運航し、島外からの集客を図った。 また、利用者の環境整備のため馬島待合所トイレ改修を行った。</p> <p>④船員の雇用対策 一部欠員状況であった船員について、安定した運航のため雇用を図った。</p>	A	B	<p>①経費縮減 計画的な船舶修繕計画の検討を含め、引き続き、経費の縮減に努めていきたい。</p> <p>②離島活性化 島で定期的な活動を行う海岸清掃活動団体など島の応援者たちの参加により、島外との繋がりを継続していく。</p> <p>③増客対策 コロナ禍からの回復傾向を見据え、今後、マイクロツーリズムの流れも活かし、臨時便や割引チケットの活用により、5月の連休や夏季休暇時の集客対応に力を入れたい。 また、SNS用パネル掲示などの集客対策を継続して行っていきたい。</p> <p>④船員の雇用対策 退職に伴う船員の雇用を前倒して新採船員の習熟期間を早期に確保し、安定した運航を目指す。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路の運営を維持していること自体評価できます。 今後も、市の観光部との連携をして、マイクロツーリズムの流れも活かし、情報発信を行いながら観光客誘致の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、船員の雇用対策、経費節減、安全運航の取組についても継続的な実施を期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津市離島航路確保維持協議会	有限会社 郵正丸	馬渡島～名護屋・呼子(本土)間を運航	1)本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実な計画運航回数の達成を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努め、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和4年度に策定予定の航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路運営を維持していること自体評価できません。 今後は、令和4年度に策定される航路改善計画に沿って、安全運航に支障を来さない範囲での費用削減、交流人口の増加、就航船舶代替建造等の取組により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	有限会社 加唐島汽船	加唐島～呼子(本土)間を運航	1)本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実な計画運航回数の達成を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努め、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。	A	A	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。 ・令和5年度に離島航路改革補助の調査事業を実施予定としており、航路を安定的に維持・確保するための航路改善計画を取りまとめる。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路運営を維持していること自体評価できません。 今後も、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、令和5年度実施予定の調査事業を活用して、航路の現状を把握されることにより、安定的な運航が確保されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	川口汽船 有限会社	小川島～呼子(本土)間を運航	1)本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実な計画運航回数の達成を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努めることし、共通予備船の利用や安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。共通予備船の代船として貸し出すことにより収益の増加を図る。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施されることにより引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	唐津汽船 株式会社	神集島～湊(本土)間を運航	1)本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実な計画運航回数の達成を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努めることし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。	A	A	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の運航を実施する。 ・島民、利用者の減少に伴うダイヤの見直し(減便)を令和4年10月から実施するなど、経費の削減を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、交流人口を増やす取組を実施されることにより引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。 また、運航ダイヤの減便にともなう、経費削減効果により、持続可能な運航の確保に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州郵船株式会社	博多～比田勝	<p>・新造船うみてらしの就航によって、就航率は大幅に改善し、運航への信頼感が格段に飛躍した。</p> <p>・船舶の性能が高まった事に伴う船内の快適性や欠航することがほとんどなくなった事による安心感が利用客に定着しつつあり、本航路の利便性が高まった事を追い風にして、集客の段階から本航路利用促進を促すような販促、営業活動に取り組んだ。</p>	A	A	<p>・対馬島内は特に若年層の島離れ等で過疎化が進み年々、島内人口は減少の一途をたどっている。</p> <p>・新船の導入により、本航路の快適性や信頼性は徐々に浸透しつつある。</p> <p>・これらを更に訴求し、特に博多壱岐対馬航路の往復利用客を1人でも1台でも多く本航路利用促進に繋がるべく地道な販促活動を実践し、博多→厳原→比田勝→博多(もしくはその逆)のようなトライアングル利用が少しでも定着すれば、本航路利用増に結びつく為、対馬島内とも連携しながら、営業活動を実践していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、旅客の取り込みや定期トラック等の利用増加の取組に期待します。</p> <p>また、博多壱岐対馬航路との連携により、博多→厳原→比田勝→博多(もしくはその逆)のようなトライアングル利用を販促していくことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	崎戸商船株式会社	友住～佐世保	<p>離島航路改善計画実施により、令和元年6月11日新船就航に伴い、費用の削減に努めた。</p>	A	A	<p>新型インフルエンザやコロナ感染防止対策を確実に継続するとともに、江島・平島沖洋上風力発電事業の実現に向け自治体と協力して行く。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、江島・平島沖洋上風力発電事業の動向に注視しながら、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州商船株式会社	佐世保～上五島	コロナ禍で落ち込んだ需要を取り戻すため、旅行商品の開発を行い積極的に島外からの観光客誘致を図ったほか、日頃から船舶の点検等を行い安全運航と経費節減に努めた。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、輸送量回復に向けて関係者と連携を図りながら営業活動に努める。 ・また、令和5年10月の小値賀港・宇久平港の母港交替が円滑に進むよう関係機関と調整を図る。 ・なお、「フェリーなみじ」が船齢35年と老朽化しているため、代替船を建造・就航させることができるように時期を見極め計画を立てる。 	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナを見据え、輸送量回復に向けて関係者と連携を図り、営業活動を通じて交流人口を増加させることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株式会社	福江～青方～博多	①減速運航は、博多～宇久下り便に於いて継続して行い燃料費削減に努め、その他経費に於いても合理化を出来る限り行った。 ②新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・減速運航は、博多～宇久下り便に於いて継続して行い燃料費削減に努め、経費に於いては、船舶の維持点検を行い修繕費の抑制に努める。 ・新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努める。 	新型コロナウイルス感染症の影響下で、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、地道な営業活動により、新規顧客の確保に努められていることも評価できます。 今後も、営業活動等により、増収に関する取組や、経費削減の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	五島旅客船株式会社	郷ノ首～福江	<p>・運航の定時性を確保しながら潮流の状況を勘案し、時間的に余裕があるときは主機関の回転数を落とすことにより燃料費の削減に努めた。</p> <p>・日常メンテナンスを計画的に実施し、船員が可能な範囲で整備修繕を行い修繕費の削減に努めた。</p>	A	A	<p>・アフターコロナ、連続ドラマの影響を見据えて、観光関係者との連携を図りながら、旅客輸送実績を伸ばせるように尽力したい。</p> <p>・日々のメンテナンスや点検を励行し、機関トラブルの未然防止、安全運転に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染防止対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、脱コロナや連続ドラマの影響を見据えた、観光関係者との連携を図りながら、交流人口を増やすことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	<p>機関調整等による欠航をすることがないよう、適切な点検整備を行い、運航率の安定を図った。</p>	A	B	<p>引き続き適切な点検整備等を行い、機関調整による欠航を減らし、急激な就航率の低下とならないよう努める。</p> <p>風力発電や太陽光発電施設建設等に係る事業の進捗により、事業者の利用が増えているので、一時的ではあるものの利用者数の改善が望める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、安全運転や機関点検による欠航回数の減少に向けた取組を実施され、風力・太陽光発電関連事業の輸送需要増加を捉えることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	津吉商船株式会社	津吉～相浦～佐世保	・コロナ渦において、観光誘致が困難な中、運航を継続し、自社船員で船舶の整備修繕を行うことにより経費削減に努めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。 ・イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。 ・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、運航ダイヤの見直し等の取組を実施したことも評価できます。</p> <p>今後も、脱コロナに向けた観光誘致活動に参画し、交流人口を増やす取組を実施することによって、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	西海沿岸商船株式会社	佐世保～神浦	長崎市及び島民との協議を行い、観光客の受け入れ体制、ダイヤについて協議を行った。	A	A	<p>新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続すると共に西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後は、令和4年度に策定される航路改善計画に沿って、欠損額圧縮のための取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎県離島航路対策協議会	平戸市	大島～平戸	燃料潤滑油が高騰する中、毎月単価見積入札を実施し、購入価格の低減に繋がった。 また、離島住民割引を引続き実施し、離島住民の利便性確保及び負担軽減を図った。	A	A	・燃料単価は昨年度に比し、大幅に増加しているが、主機回転数の抑制や毎月の単価見積入札を継続し経費削減に努める。 ・また、日頃からの点検により小修理等可能な限り船員で行い経費削減に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けた釣り客を含む交流人口の増加や、安全運航の更なる取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	対馬市	仁位～長板浦	・有人国境離島割引及び同障害者割引により、地域住民の利用促進を図った。 ・また、対馬市外からの個人旅行者の利用促進を図った。 ・経費については、小修繕・船舶保守点検など可能な限り船員で行った。 ・また、主燃料(A重油)の入札を年4回実施するなど経費削減に努めた。	A	B	・本航路は主に病院受診のための高齢者や障がい者が利用している。 ・人口減少により、本航路利用者は減少の一途をたどっている。 ・しかし、近年は本市を訪れた個人旅行者が観光目的で本航路を利用している。 よって、地域住民のみならず個人旅行者の利用促進を図り利用者数・収入の増に繋がりたい。 ・また、船舶修繕については、船員で対応可能な範囲の整備や修繕、点検は船員で実施し経費削減に努めたい。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、観光客のための整備や、個人観光客の取り込み等を行う取組を実施していくことより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株式会社	長崎～伊王島～高島	・乗船券と伊王島や高島のレジャー施設の入場券をセットにしたパック商品等の販売を継続し、利用客増に努めた。	A	B	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・令和2年度に調査事業を行い、「航路改善計画」を策定致しました。現在「航路改善計画」に基づき、省エネ型新船を令和4年3月12日に契約・起工し、令和5年度中(令和5年3月中旬～下旬)の就航を目指す。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、パック商品の継続や、令和5年3月就航予定の「俊寛」の新船効果を活かす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	鷹島汽船有限公司	阿翁～御厨	・離島住民運賃割引を実施した。 ・交流人口拡大及び観光客の誘致のために「まつら党交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めていたが、新型コロナウイルス感染症第6波・第7波の影響により中止となった。 ・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 ・修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。	A	B	・平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(原則水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、尿管運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。 ・新型コロナウイルス感染症第6波・第7波のおりに黒島地区及び青島地区より県外利用者の自粛要望があり約2ヶ月間協力した。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、関係機関と連携し、交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎県離島航路対策協議会	鷹島汽船有限公司	殿ノ浦～今福	<ul style="list-style-type: none"> ・離島住民運賃割引の実施及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者誘客に努めた。 ・燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 ・修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。 ・寄港地である飛島にて令和3年度飛島地区場外離着陸場・避難路整備工事があり、竹山運輸(有)所有船である「第二フェリー度島」を備船し、今福から飛島間に12日間運航した。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事としている。 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。 ・新型コロナウイルス感染症第6波・第7波のうちに飛島地区より県外からの利用者の自粛要望があり約2ヶ月間協力した。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、飛島における工事実施の輸送需要増を捉えて、欠損額圧縮に努めたことも評価できます。</p> <p>今後は、脱コロナに向けて、関係機関と連携し、交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	舌岐市	大島～郷ノ浦	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。 ・経費については、消耗品の節減、燃料油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、定期検査における一般競争入札の実施、ドック時においても船員自らデッキ等の塗装及び機器整備を実施、また日頃からの船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	黒島旅客船有限公司	黒島～高島～相浦	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の配乗計画等の工夫により、欠損増加の抑制に努めた。 ・船舶の錆落としや自社修繕、定期点検等を実施し維持管理を行い、経費削減に努めた。 ・相見積りや交渉等を行い経費削減に努めた。 	A	A	<p>帰省・観光客回復の兆しがある中、感染対策を継続し安定運航に努め、佐世保市と連携し観光客集客に努める。車両の配乗計画等を工夫し欠損増加の抑制に努める。</p> <p>今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費削減に努める。また経費の精査を行い節減に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を実施し離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、脱コロナに向けて、世界遺産として登録されている黒島の集落等の観光資源を活かし、佐世保市と連携しながら観光客等の交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド運航の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持存続に努めた。そのために、令和3年10月1日付ダイヤ改正による乗客の集客を図り、さらに、赤字解消のために令和4年4月1日より運賃値上げを実施した。 	A	A	<p>デマンド運航の定着及び利便性の確保をしながら経費削減を図り、離島航路の維持存続に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、運航ダイヤ変更等の旅客利便増進のための方策を実施したことについても評価できます。</p> <p>今後も、引き続き航路改善方策に取り組まれることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況			
長崎県離島航路対策協議会	有限会社木口汽船	久賀～福江～杵島	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの断続的な感染に伴い、旅客数の回復ペースは遅れたが、船内消毒、利用者の検温等感染予防対策に取り組み、安心して利用できるよう努めた。 ・修繕費については、先送りできる工事と原油価格、物価価格の高騰により、値上げが予想される部品等、業者との情報交換を密に行い、修繕費の節減を行った。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の運航体制を可能な限り維持しながら、経営コストを削減し、経営を行っていく。シーガルリプレイスによるバイアフリー化で公共交通機関として移動の利便性及び安全性の向上、促進を図る。 ・また、島民利用はもとより観光客など島外利用者への取り込みは極めて重要であり、その一役を担っているシーガルのグラスポート機能の維持を図りながら、定期航路を利用した便の受け入れ態勢の強化等、観光振興策の取り組みが今後も必要である。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後は、令和5年4月就航予定の新シーガルを活用した観光振興策への取組や、脱コロナに向けた交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	有限会社黄島海運	黄島～福江	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から経費の削減に努め、安定的な航路運営を図った。 ・燃料費の安価購入のため、単価購入契約を実施している。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。 ・令和4年4月「おうしまⅡ」の就航により、修繕費、燃料費の経費削減に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>また、運航ダイヤの変更等の、具体的取組を実行したことについても評価できます。</p> <p>今後も、令和4年4月に就航した「おうしまⅡ」の新船効果を活かしながら、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	竹山運輸有限会社	度島～平戸	・備船の長期化に伴う雑収入の増につながった。	A	A	・令和5年3月を就航目標として代替船建造を進めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後は、令和5年3月就航予定の新船を活用して、欠損額圧縮を目指すほか、船舶用船先の拡大を目指すことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おちかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし観光客の利用など、町営船の利用促進への対策を行った。 また、関係機関と陸上交通との接続や運航ルートの変更などについて協議を実施した。	A	B	・効率的な運航、タイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、野崎島を活用した交流人口の増加策を講じることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	柳～納島	観光関係機関と連携し、情報発信や特産品である落花生収穫体験の研修等、団体客の利用促進を図った。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。 ・観光事業及び地域おこし協力隊と連携し情報発信、移住促進を行い利用客増加を図る。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、効率的な運航、ダイヤの見直し、航路の再編及び増収策などを具体化することにより欠損額圧縮を図るとともに、観光事業及び地域おこし協力隊と連携し交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	嵯峨島旅客船有限公司	嵯峨島～貝津	・年2回のドック時に備船する期間を5日間と見込んでいたが、船員が努力して3日間で終えることが出来た。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な船舶修繕があったため、早め早めにメンテナンスしていきたい。また、船員不足が課題であるため、今後は広く求人募集をしていき、船員を育てて固定していきたい。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、船舶に対する日頃のメンテナンスを継続して行い、欠損額圧縮及び安定的運航を目指すことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点		
天草～長崎航路対策協議会	苓北観光汽船株式会社	富岡～茂木	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡港からの二次アクセスとして、民間企業が一般レンタカー事業を行っており、航路利用者の利便性向上に役立っていることから、引き続きレンタカー業者と連携を取っていく。 ・Paypay、Airpay等の電子決済導入による利便性の向上維持、並びに電子決済の利用拡大に向けた周知を行う事で、航路利用者の確保を図る。 ・引き続きSNS等による、天草地域の観光・イベント情報の発信を行い、観光客等の航路利用者の確保を図る。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて減少した利用者呼び戻し、新規利用者を獲得するため、関係団体と連携し取り組んで行く。 ・SNSを活用し、イベント・観光情報等の発信を行い、観光客等の航路利用者の確保を図る。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、サンセットクルージング等の観光航路を活かした交流人口の増加策を関係団体と連携して取り組んでいくことにより、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
姫島～国見航路運営協議会	姫島村	姫島～国見の離島航路の運航	<p>昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、各種イベントの中止やツアーのキャンセル等に伴い交流人口は大幅に減少したが、行動制限緩和により島外からの旅客数は増加した。</p> <p>協議会委員には、村の企画振興課長や商工会会長、区長会会長を任命しており、協力して観光振興や航路の利用促進等の取組を行っている</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の収束後は、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大を図る。 ○船舶については常時点検を行うことで機械的に良好な調子を保ち、大規模な修繕の発生を回避する。 ○令和2年度策定した航路改善計画に基づく取組の進捗状況の把握や取組効果の検証を行う。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、脱コロナに向けて、日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進める等の交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点		
大島～佐伯航路運営協議会	佐伯市	大島～佐伯の離島航路の運航	今年度は新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和により旅客が増加しているが、今年度も昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴いイベント等は行えていない。協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会長を任命しており、協力して移住や観光、利用促進等の取組を行っている。	A	B	○新型コロナウイルス感染症収束後は、地元商工会、観光協会等の関係機関と連携して情報発信を行うとともに、活性化方策として島内イベント等を開催し、需要の喚起を図る。 ○就航から10年を経過するため、船舶の定期検査ドッグ、中間検査ドッグのほか、日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避することで修繕費の削減を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、脱コロナに向けて、地元商工会、観光協会等の関係機関と連携した情報発信を行うとともに、離島活性化方策として、島内イベント等を開催し、需要喚起の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
蒲江～深島航路運営協議会	蒲江交通有限会社	蒲江～深島の離島航路の運航	新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和に伴い島外からの利用者が増加した。島民によるマリナクティビティやゲストハウス等の運営やHP、SNSによる情報発信等を市や関連機関と連携して行っており、島の活性化や航路の利用促進につながっている。 また、令和4年10月からは佐伯市が航路を引き継いだ。引き続き協議会委員には、佐伯市あまべ商工会理事、屋形島・深島区長を任命しており、協力して利用促進等の取組を行っている。	A	A	○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。 ○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。 ○現運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは佐伯市が運航事業者として事業を引き継いでおり、引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 また、島民によるマリナクティビティやゲストハウス等の運営やHP、SNSによる情報発信等を市や関連機関と連携して行っていることについても評価できます。 今後は、令和4年10月から当航路を引き継いだ佐伯市が、航路改善計画に示された収支改善策を着実に実施していくとともに、他の交通モードとも連携しながら、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見～保戸島航路運営協議会	有限会社やま丸	津久見～保戸島の離島航路の運営	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い各種イベントも開催されず、貸切客等も減少し、観光客誘客に向けた取り組みが実施できなかった。</p> <p>昨年度に引き続き、市が設置しサーモグラフィーによる検温や船内消毒の徹底など、利用拡大に向けた感染拡大防止対策に取り組んでいる。</p> <p>また、令和4年10月から津久見市が航路を引き継いだ。引き続き協議会委員には、津久見市商工会議所会頭、保戸島区長会会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	B	<p>○新型コロナウイルス感染症の収束後は、観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。</p> <p>○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図る。</p> <p>○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。</p> <p>○現運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは津久見市が事業主体となり航路を引き継いでおり、引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後は、令和4年10月から当航路を引き継いだ津久見市が、航路改善計画に示された収支改善策を着実に実施していくとともに、他の交通モードと連携しながら、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		
延岡市離島航路確保維持改善協議会	日豊汽船株式会社	島浦～浦城	島内の人口の減少等により、航路利用者数は減少傾向にあることから、島外からの交流人口の増加によって、航路利用者数を確保するための取組みが求められている。このようななか、島浦町区、漁協、有識者等の関係者で構成する「島業」推進協議会では、県や市と連携して、新たな飲食店の整備や開店等に係る初期費用を支援する取組みを実施し、令和4年3月19日に、島内では15年ぶりとなる飲食店のオープンが実現した。その他、引き続き、観光協会や商工会議所などの関係機関や地域住民と連携しながら、地域振興施策の活用や魅力ある地域資源の磨き上げ等によって、島民以外の利用客の増加を図ることとする。	A	B	老朽化したフェリーのリプレースに向けて、令和2年度に策定した航路改善計画に沿った航路改善方針に基づき、経費の削減に努める。 今後も航路を維持していくことで島民や観光客の利便性を確保するとともに、新型コロナウイルスの収束にあわせて、観光関係団体と連携しながら地域の資源を活用した観光振興による利用促進を強化していくこととする。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、令和2年度に策定した航路改善計画をより具体化して実施していくことや、脱コロナを見据えて、交流人口を増やす取組を実施していくことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
串木野・川内～甑島航路対策協議会	甑島商船株式会社 串木野・川内～甑島航路	串木野・川内～甑島航路の運航	・甑島への入込観光客の誘客促進を図るため、地元自治体及び観光関連施設と連携し、甑大橋自体を活用したインフラツーリズム等、新たな企画旅行商品を作成した。 ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光促進事業及び全国旅行支援に注力し、薩摩川内市及び薩摩川内市観光物産協会等と連携し、個人向けの旅行商品を作成し営業展開を図り、甑島への入込観光客の誘客促進等を図った。 ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。	A	B	・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。 ・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。 ・甑島の人口は減少傾向にあるが、令和2年8月の甑大橋の開通により甑島の観光振興は加速しており、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業、全国旅行支援、今こそ鹿児島の旅などを活用しながら、地元自治体・観光関係事業者と連携し、島外からの交流人口の増加を図る。 ・令和5年4月よりフェリーの島内寄港地の集約(鹿島港抜港)を予定しており、航海時間を短縮し、燃料費等のランニングコスト軽減を図り収支の改善に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、令和3年度の策定された航路改善計画に沿って、寄港地集約をはじめとした、航路改善方針を着実に実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿児島～三島～枕 崎航路対策協議会	三島村 鹿児島～三島航路	鹿児島～三島～枕崎 航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> 増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。 平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。 本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、脱コロナを見据えた、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
鹿児島～十島～名 瀬航路対策協議会	十島村 鹿児島～十島～名瀬 航路	鹿児島～十島～名瀬 航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> 十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。 平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月より、運航ダイヤの見直しを行っており、今後もこれに基づき航海時間の短縮による旅客等の利便性及び定時性の向上に努める。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染防止対策を徹底し、旅客の利用促進に努める。 住民のコロナワクチン接種も進んできていることから、感染対策を徹底しつつ、旅客数の回復・増加に努めたい。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、3年ぶりに再開されている観光ツアー等をはじめとした、交流人口を増やすための取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～喜界～知名航路対策協議会	奄美海運株式会社 鹿児島～喜界～知名航路	鹿児島～喜界～知名航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美群島振興交付金による運賃軽減事業の継続実施や船旅の魅力キャンペーンPR(SNS等)・オリジナルサイダー配布などを行い広報活動や利用促進に努めた。 ・燃料油価格の高騰に対する燃料油価格調整金の適切な収受を行い、運航収入の増収が図られた。 ・繁忙期の増便、地域の要望に応じたスポーツ大会やイベント等のスケジュール変更、欠航後の船便の確保など利便性の向上と航路収支の改善に努めた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナウイルスの影響や物価高騰、地域の少子高齢化・過疎化の進行・燃料価格の高騰など利用者の減少と物流の低迷が推測され、今後も当航路を取り巻く環境は厳しい状況である。しかし、奄美群島振興交付金による運賃割引制度の実施やキャンペーンPRの拡大、奄美の世界自然遺産登録による観光誘致など関係機関と連携して広報活動や利用促進に努める。 ・原油価格の動向で変動する燃料費は、今後も不安定で大幅な高騰が予想されるが、グループ企業との共同購入による価格抑制やエンジン回転数の低減による効率的な運航を行い負担軽減を図る。一方、燃料価格の高騰分を運賃へ上乗せする燃料油価格変動調整金の適切な収受により、収益の確保に努める。 ・当航路も船員不足や要員確保、就労体制の改善、船舶の老朽化や物価高に伴う修繕維持費の増加など課題は多いが、安全対策を徹底しながら要望に応じた増便やスケジュール変更を随時検討し、効率的な運航体制の確保を図り、離島住民へ必要不可欠な交通手段として安定した定期運航に努める。また、地域の農畜産物や水産物等の輸送、公共工事など関係市町村と連携して収益の確保に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>奄美群島相互間において、地域住民を対象とした奄美群島振興交付金による運賃割引制度の実施やキャンペーンPRの拡大等により、航路のPR等を行っている事も評価できます。</p> <p>今後も、世界自然遺産登録を受けた奄美大島や徳之島をはじめとした各島の観光資源を活かして、交流人口を増やす取組を実施していくことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		
宮之浦～口永良部・ 島間航路対策協議会	屋久島町 宮之浦～口永良部・ 島間航路	宮之浦～口永良部・ 島間航路の運航	口永良部島での火山災害からの復興は、ほぼ噴火前の状態に戻りつつあり、令和4年9月1日に火山警戒レベルが「2」から「1」に引き下げられたこともあり、公共工事にかかる車両及び貨物の輸送量は増加した。旅客については、コロナ禍以前の水準に戻りつつあり、徐々に団体ツアー等も再開しつつあるものの、集客数が予定人数に満たないツアーが大半であったため、目標達成には至らなかった。島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。 ・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を図った。	A	B	・人口の減少及びコロナ禍の影響等により輸送量の確保が難しい状況であるが、口永良部島での公共工事等による輸送量の増加も見込んでおり、これに加え、旅行代理店等の関係機関との連携のもと、交流人口の増加に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、航路改善計画に沿った交流人口の増加策を具体的に実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
与路～古仁屋航路 対策協議会	瀬戸内町 与路～古仁屋航路	与路～古仁屋航路の 運航	・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。	A	B	・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。 今後は、令和4年度に策定される航路改善計画に基づき、欠損額圧縮への取組を実施することや、農業振興等による取扱い貨物の増に取組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
瀬相～古仁屋～生 間航路対策協議会	瀬戸内町 瀬相～古仁屋～生間 航路	瀬相～古仁屋～生間 航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底している。 ・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、安定的な航路運営に努める。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図ることにより、島民の利便増進の取組を実施することで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路対策協議会	天長フェリー株式会社 天草～長島航路	天草～長島航路の運航	<p>・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めたが、コロナ禍でイベントの中止等があり十分な促進ができなかった。</p> <p>・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成する制度(平成22年7月～)を活用し、自動車輸送量の確保に努めている。</p> <p>・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引を実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図っている。</p>	A	B	<p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持、確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</p> <p>・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。</p> <p>・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等への利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。</p> <p>・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや代替船(省エネ効率化船)の導入による経費削減等効率的な航路運営に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和5年1月より就航しているロザリオ・カームについて、新船効果をはじめとした欠損額圧縮に資する取組みを期待します。</p> <p>今後も、平成30年3月に策定した航路改善計画に沿った航路改善方を具体的に実施することで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	竹崎～六連島航路	<p>船舶の小型化(49トン→19トン)により燃料費、検査費用、修繕費等の削減を目標としていたが、各項目とも大幅な削減が実施できた。</p> <p>また平成31年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として六連島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。また、令和3年8月より地域おこし協力隊員1名が元船員宿舎に居住し島おこし事業を行っている。</p>	A	A	<p>島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。</p> <p>引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。</p> <p>コロナ禍の中で観光客の利用促進は、難しい課題ではあるが、六連島灯台が日本遺産・国の重要文化財に認定されたので、今後PRに努め観光客の増加に繋げて行きたい。今後、島内で島民と渡船利用者との交流イベント(コンサート等)を企画しており、イベント等を通じて渡船利用者の増加を図る。</p> <p>コロナ感染症は続いており、マスク着用や消毒等のコロナ感染防止策を徹底し、関係部署や地元と協力し、運航を継続し利用者の増加に向け、鋭意、努力していく所存である。</p> <p>現在、バリアフリー対応の竹崎棧橋を更新工事をしており、令和5年度に設置を行う予定。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>令和2年に国の重要文化財に認定された六連島灯台等の観光資源を活かし、SNSを活用した情報発信等による交流人口を増やす取組みを実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	蓋井島～吉見航路	<p>テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。平成30年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として蓋井島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。</p> <p>また自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。</p>	A	A	<p>安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。</p> <p>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持確保のため、今後とも燃料費、修繕費等の経費削減に努めるとともに、令和2年10月に島民と渡船利用者との交流できる施設が島内に出来、今後、交流イベント等の企画を通じて渡船利用者の増加を図る。</p> <p>コロナ禍の中での観光客の利用促進は、難しい課題ではあるが、九州からの釣り客等は増加傾向にあることから、マスク着用や消毒等コロナ感染防止策を徹底しながら、関係部署や地元と協力し、運航を継続し利用者の増加に向け、鋭意、努力していく所存である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、令和2年10月に島内に作られた、島民と渡船利用者との交流できる施設を活かして、交流イベント等の企画を通じて交流人口の増加に取組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	